

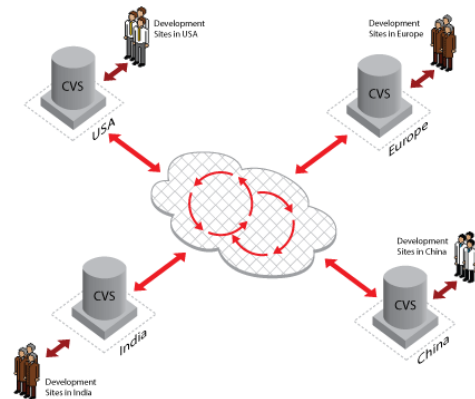
## WANdisco for Subversion Standard/Enterprise 「いつでも」「どこでも」リアルタイム開発

WANdisco for Subversionは、国内外に分散する開発拠点のSubversionリポジトリをリアルタイムで同期させる、投資対効果が高く、障害にも強いソリューションです。個々の開発拠点がバラバラに作業するのではなく、開発チームが地理的制約に縛られず「一体として」シームレスに開発を行うことができます。分散による問題が早期に発見され、問合せや手戻りを大幅に減らし、結果として開発サイクルを劇的に短縮し、大幅な費用削減が可能となります。

更に、WANdiscoは、自動修復機能を持ち、ディザスタリカバリまで自動化。開発ソースコードの逸失を防ぎ、開発ロスタイムをなくします。

### HOW IT WORKS

鍵はWANdiscoのユニークなリアルタイム、アクティブ・アクティブ・レプリケーション機能です。WANdiscoは、障害が全てに及びやすいセントラル・コントロールを採用していません。各サイトにあるSubversionリポジトリのあるサーバーにインストールされ、DConeエンジンにより水平分散的に動作します。各DConeは、ローカルでコマンドを受けそれをリアルタイムで他のWANdisco(DCone)でレプリケーションして動作します。それにより、全てのSubversionで同じSubversionコマンドが実行されるのです。



### 現在のSubversion環境にアド・オンできます

WANdiscoは、Subversionクライアントとサーバー間でトランスパレントな(透過的な)ゲートウェイとして動作し、ローカルのSubversionサーバーにはネットワークプロキシとして働きます。つまり、SubversionクライアントにもSubversionサーバーのファイルにも変更が必要ありません。つまり、開発者も、Subversionの管理者も、今までのSubversionの知識をそのまま活用して利用していただくことが可能ですから、スムーズに導入いただけます。

### 自動修復機能

例えばネットワーク障害が発生しても、開発者は開発作業を続けることができます。データベースのREDOログのような働きをする、ローカルのWANdiscoのトランザクション・ジャーナルに変更が記録されます。ネットワークが回復して再接続された時、ローカルのWANdiscoは、他のWANdiscoと通信して、ダウンしていた間に行われた修正を相互に取込、アップデートをかけようと働きます。これらの修復は自動で行われます。この機能により、開発者のロスタイムをなくし、ディザスタリカバリのような場合を含め障害からの回復での人為的なミスを防止します。

## フォロー・ザ・サン・オプション

本オプションは、特定の時間(通常の就業時間)にある特定のサイトに優先権を与え、反応をよくすることができます。例えば、Subversionサーバーが東京とカリフォルニア州サンノゼにあった場合、東京のビジネスアワーには、東京ではWANの伝送遅延なしに書き込みができ、サンノゼには非同期で書き込みに行きます。日本のビジネスアワーが終わって、サンノゼの時間が始まると、WANdiscoは優先権をサンノゼに渡し、今度はサンノゼ側が伝送遅延なしに書き込みができるようになり、日本には非同期で反映します。これにより、WAN伝送遅延によるストレスをなくします。

## セキュリティ(エンタープライズ版)

WANdiscoエンタープライズ版では、Subversionが提供しているユーザー認証やアクセスコントロールを超えるセキュリティを提供します。管理者は最小の努力で最も複雑なレベルのセキュリティ・ポリシーを全ての管理対象開発サイトに適用できます。ユーザー定義はLDAPなどからバルクで読み取ることが可能で、手作業と手作業によるミスを減らします。グループ、ロール、およびユーザー単位、更にIPアドレス・レベルのアクセスコントロールが、ブランチ、モジュール、ファイルの単位まで可能で、職務で分離できます。セキュリティの設定は、全サイトに自動でレプリケーションされます。オンライン・クエリー&レポートは、Subversionリポジトリへの全ユーザーアクセス(アクセス違反を含む)をトラッキングし、監査などで要求される手作業でのデータ集計やレポート作業最小化します。LDAP, NIS, アクティブ・ディレクトリおよび、他の認証サーバーがサポートされています。

## モニタリングと管理(エンタープライズ版)

WANdiscoエンタープライズ版では、ダッシュボード的な管理コンソールを備えています。ネットワーク・パフォーマンスのボトルネックを発見したり、各Subversionサーバーの状況が表示されます。例えばディスクフルのような重大な問題が起こった場合はハイライト表示されるため、対応が容易です。

## 対応Subversionバージョン

Subversion Server 1.3 またはそれ以上

## Subversion バックエンド サポート

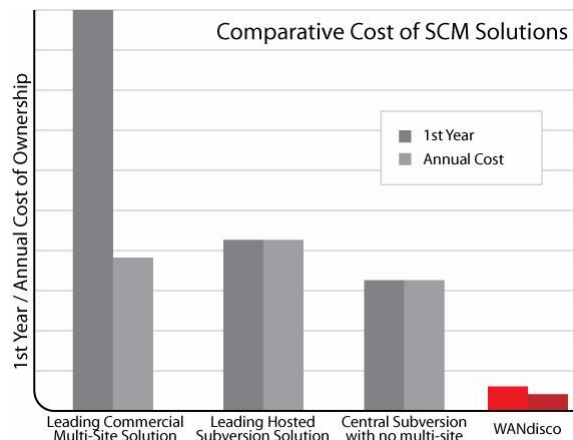
FSFSとBerkeleyDBをサポートしています。

## サポートクライアント

Subversionコマンドライン、RapidSVN, TortoiseSVS, Sub-eclipse, 他

## 動作環境

J2SE 1.5または互換のJava実行環境。64MBのRAM、450MHz以上のCPUを搭載した環境を推奨。



## ROI(投資対効果)

WANdiscoは他のマルチサイト開発環境より大幅に高いROIを実現します(上図)。特に、管理オーバーヘッド削減と開発時間の制約解除による隠れたコストの削減は、他のソリューションでは実現が困難であり、WANdiscoが得意な分野でもあります。

## About WANdisco

本社:  
WANdisco, Inc. World Wide Head Quarters

4695 Chabot Drive Sutite #115  
Pleasanton, CA 94588 USA

URL: <http://www.wandisco.com/>

## アジア地区担当

東京オフィス:  
WANdisco Tokyo.

143-0023 東京都大田区山王2-1-2  
Oomori Station Box 6F

URL: <http://www.wandisco.jp/>